



平成22年7月15日

各 位

会社名 株式会社 さいか屋
 代表者 取締役社長兼社長執行役員 岡本 洋三
 (コード番号 8254 東証第2部)
 問合せ先 執行役員経理部長 足立 進
 (TEL. 044-211-3157)

業績予想（連結・個別）の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社グループは、平成22年4月14日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正を行うとともに、平成23年2月期第1四半期連結累計期間（平成22年3月1日～平成22年5月31日）において特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成23年2月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	23,780	120	△80	6,780	211円48銭
今回発表予想(B)	24,300	410	180	7,090	224円94銭
増減額(B-A)	520	290	260	310	—
増減率(%)	2.2	241.7	—	4.6	—
前期(平成22年2月期第2四半期)実績	29,170	75	△158	△5,951	△184円98銭

平成23年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	46,190	500	100	6,650	207円43銭
今回発表予想(B)	45,500	670	260	7,160	227円16銭
増減額(B-A)	△690	170	160	510	—
増減率(%)	△1.5	34.0	160.0	7.7	—
前期(平成22年2月期)実績	57,146	275	△199	△10,633	△331円66銭

平成23年2月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成22年3月1日～平成22年8月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	23,750	120	△50	6,820	212円72銭
今回発表予想（B）	24,300	410	220	7,140	226円53銭
増減額（B-A）	550	290	270	320	—
増減率（%）	2.3	241.7	—	4.7	—
前期（平成22年2月期第2四半期）実績	28,621	35	△189	△5,486	△170円55銭

平成23年2月期通期個別業績予想数値の修正（平成22年3月1日～平成23年2月28日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	46,150	490	130	6,690	208円67銭
今回発表予想（B）	45,500	670	290	7,200	228円43銭
増減額（B-A）	△650	180	160	510	—
増減率（%）	△1.4	36.7	123.1	7.6	—
前期（平成22年2月期）実績	56,149	204	△256	△10,178	△317円50銭

修正の理由

（連結）

連結の業績予想の修正につきましては、一部閉館に伴うセールや商品構成の見直しによる新規テナントの導入及びローコストオペレーションなどにより、営業店舗の収益が順調に推移し、第2四半期連結累計期間において売上高5億2千万円、営業利益2億9千万円、経常利益2億6千万円、四半期純利益3億1千万円それぞれ前回予想を上回る見通しとなりました。

通期においては、営業利益、経常利益、純利益ともに前回予想を上回る見通しです。一方、売上高は、契約形態の変更があるため、商品売上が賃料収入に置き換わっていく事などから前回予想を下回る見込があります。

（個別）

個別の業績予想の修正につきましては、連結と同様の理由により、第2四半期累計期間において売上高5億5千万円、営業利益2億9千万円、経常利益2億7千万円、四半期純利益3億2千万円とそれぞれ前回予想を上回る見通しとなりました。

通期においては、連結と同様の理由により売上高は前回予想を下回りますが、営業利益、経常利益、純利益ともに前回予想を上回る見通しです。

2. 特別損失の計上について

事業再生計画に基づき実施する費用を事業構造改善費用として、見積り可能額を前期末に計上しております。当第1四半期連結累計期間において横須賀店の一館体制への移行などに伴う固定資産除却損をはじめとした費用のうち見積りが可能となった210百万円を追加計上いたします。今後、事業構造改善費用として計上すべき費用が発生もしくは見積りが可能となった場合は速やかに計上を行う予定です。また、事業再生計画に基づいて売却を行った投資有価証券の売却損24百万円も特別損失として計上いたします。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上